

Q：ノート指導の仕方について教えてください。【1年】

A：1年生のノート指導は算数に限らず、他のどの教科でも大切なことです。学年はじめにノートの使い方を徹底することは、その後の学習の理解に大きく作用します。算数のノート指導の例としては、次のようなことが考えられます。

- ① マス目ノートを使用する。
- ② ページの左に2マス空けて線を引く。その枠内に、
  - ・日付を書く。
  - ・その日学習する教科書のページや、練習問題の大問番号を記入する。
  - ・学習問題は **が**，予想は **よ**，友達の考えは **と**，まとめは **ま**，というように、学習の流れを記号化して記入する。
- ③ その日の学習問題は青色鉛筆で囲む。

○/○	
○へーび	
・ <b>が</b>	
○ <b>よ</b>	
○ <b>と</b>	(絵, 図, 式, 文書など)
○ <b>ま</b>	

※右ページに練習問題や感想（満足度、次時への意欲）などを書く。

ノートは、学習理解を深めるために使用するという主目的の他に、後から振り返ったり、教師が児童のつまづきを確認したりするために使いたいものです。すなわち、何が、どこに書かれているのかが見やすく、美しいことなどが求められます。

しかし、ノート指導は一朝一夕にはいきません。特に1年生の場合、文字を書いたり、線を引いたりするのに個人差と時間差があるので大変です。初めのうちは、10文字程度の板書でも、どの子も書き終えるまでに5分かかるなんてことはざらです。

先生方の中には、黒板に、児童と同じ罫線を引いて、書く場所を指定して写させる方もいます。なぜなら、児童の中には、黒板に書かれている3行程度の簡条書きを1行につなげて書いてしまい、後で読み直した時に意味が通じないなどと言うことは珍しくないからです。

子どもにとって、ノートづくりは、手間がかかる作業です。教師は、書く時間を確保すること、可能な限り毎日個々の児童のノートに朱書きを入れて褒めること、良いノートを紹介して参考にさせることなど、あの手この手が必要です。「担任の先生が根気強く指導できるか。」が、ノート指導の鍵と言えます。